

建築構造

教 科	工業（建築インテリア）	単位数	2	学科・学年	建築インテリア科 1年
使用教科書	建築構造（実教出版）	副教材等		図説 建築資料集、建築構造演習ノート	

「建築構造」はどんな科目？

建築空間において安全・快適に過ごせるように、また、建築物がどのようになりたっているか、どのように発達してきたのかを学びます。（木構造・鉄筋コンクリート構造・鋼構造）

「建築構造」の学習の特徴は？

建築物の各部材名称を覚え、骨組みや仕組みを図にかいたり、専門的な用語を覚えたり、実際の現場での話などを担当の教員を通じて学びます。

「建築構造」で大切なこと（留意点）は？

卒業後に現場で安全に作業できるように建築物の仕組みを理解し、また、設計や施工管理の基本的な方法なども理解すること。少なくとも部材名称、専門用語は覚えなないとはいけません。

1. 学習の計画（どのような内容を、どの時期に学ぶのかを含む。）

	月	学 習 内 容	主な学習活動（指導内容）
1 学 期	4	第1章 建築構造のあらまし	<ul style="list-style-type: none"> 建築構造とは何か、そして、建築物はどのような部分から成り立っているかを学ぶ。 木構造の一般的な特徴を考え、現在用いられている構造形式の種類とその特徴のあらましを理解する。 接合部の基本形式である継手・仕口のあらましを理解する。 基礎のあらましを理解する。 軸組を構成する主要部材の名称を記憶し、それぞれの役割を理解する。
	5	第2章 木構造	
	6	<ul style="list-style-type: none"> 構造の特徴と構造形式 木材 木材の接合 基礎 軸組 	
	7		
2 学 期	9	<ul style="list-style-type: none"> 小屋組 	<ul style="list-style-type: none"> 小屋組を構成する主要部材の名称やその役割を理解する。 床組みを構成する主要部材の名称やその役割を理解する。 階段を構成する部材とその名称、安全上の注意点を理解する。 開口部の構成と名称、建具の開閉方式の分類と名称などのあらましを把握する。
	10	<ul style="list-style-type: none"> 床組 	
	11	<ul style="list-style-type: none"> 階段 	
	12	<ul style="list-style-type: none"> 開口部 	
3	1	<ul style="list-style-type: none"> 外部仕上げ 	<ul style="list-style-type: none"> 外部仕上げに用いる材料の性質や形状について学ぶ。

学期	2	・内部仕上げ	<ul style="list-style-type: none"> ・内部仕上げに用いられる材料・工法による仕上げを取り上げ、その名称、各部の取り付け、納め方と造作材の名称などのあらましを把握する。 ・在来軸組構法との違いを学び、長所・短所を比較しながら特徴を理解する。
	3	・木造枠組壁構法	

〈学年末テスト〉

2. 評価の観点・方法（及び年間の評定）

評価は、次の4つの観点から行います。		
関心・意欲・態度	建築構造に関する基礎的な知識と技術について関心を持ち、その習得に向けて意欲的に取り組むとともに、実際に活用しようとする創造的、実践的な態度を身に付ける。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業準備 ・授業態度 ・出席状況 ・課題提出
思考・判断・表現	建築構造に関する基礎的な知識と技術をもとに実際の建築物の仕組みについて考え、また諸問題を発見し、その解決を目指して自ら思考を深め、適切に判断し、創意工夫する能力を身に付け表現することができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・テスト ・ノート記述
技能	建築構造に関する基礎的な技術を習得するとともに、実際の建築現場を観察し、実験・実習において、実務的な技能を身に付ける。	<ul style="list-style-type: none"> ・発表内容 ・ノート記述 ・テスト記述
知識・理解	建築構造に関する各種の構造の仕組み、部材名称などの基礎的な知識を身に付け、建築生産技術に必要な意義や役割を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・テスト ・小テスト ・発言内容

また、1年間の評定は、1学期・2学期・3学期の年間を通じて、上記の内容を総合的に判断して決定します。

3. 特に強調しておきたい点（留意すべき点・担当者からのメッセージを含む。）

<p>普段の授業を大切に考え真剣に取り組む、積極的に発言し、プリントやノート・課題等をまとめて期限内に提出すること。また、定期考査や小テストにも意欲的に取り組み、自分の能力を最大限生かし切ること。</p>
